

平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月15日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社タイセイ

コード番号 3359 URL <http://www.taisei-wellnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 成一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 野村 弘

TEL 0972-85-0117

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
26年9月期第2四半期	2,423	12.6	177	6.8	203	7.5	119	△5.3
25年9月期第2四半期	2,153	13.0	166	46.8	189	27.0	126	27.4

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 119百万円 (△5.3%) 25年9月期第2四半期 126百万円 (27.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	32.95	32.65
25年9月期第2四半期	42.92	41.53

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合をもって、株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
26年9月期第2四半期	3,172	1,702	53.5	468.85
25年9月期	3,218	1,608	49.9	443.79

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 1,698百万円 25年9月期 1,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期期末配当金の内訳 : 普通配当 5円00銭 記念配当 2円50銭

3. 平成26年 9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年 9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,942	6.6	59	△63.7	100	△50.2	54	△57.9	14.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）
（注）特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結累計期間において、株式会社TUKURUを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）				
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期2Q	3,661,171 株	25年9月期	3,655,171 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	38,200 株	25年9月期	38,200 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期2Q	3,622,444 株	25年9月期2Q	2,938,013 株

（注）当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合をもって、株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合がありますので、この数値に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済政策への期待感から円高は正および株価上昇が進み、明るい兆しが見られた一方で、平成26年4月からの消費増税に伴う国内経済の腰折れ懸念ならびに中国をはじめとした海外経済の不透明感などにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要事業である菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業の業界におきましては、依然として価格競争に歯止めがかからず、またコンビニスイーツの拡販による影響を受けてBtoB市場は苦戦しているものの、安全志向の高まりなどを背景としたホームベーカリーの普及ならびにインターネットにおけるレシピサイト数の増加などにより、BtoC市場は広がっている状況です。

このような外部環境のもと、当社におきましては、大手出版会社と共同で企画した、各カテゴリーに特化した商品カタログを順次発行いたしました。バレンタイン前には著名シェフを招いたイベントを開催するなど、積極的に販促活動を行ってまいりました。

また、平成26年1月には、当社の通販サイト「c o t t a」の運営を専門に手がける目的で、連結子会社株式会社TUKURU（当社100%出資）を設立いたしました。当会社では、顧客購買動向の詳細な分析に基づく販促活動を実施し、単なる値引き販売に頼らない販売戦略を図りました。

さらに、連結子会社の株式会社プティパにおきましては、主に100円均一ショップ向けに対して、クリスマスおよびバレンタイン用のチョコレートペンをはじめとした製品の納入が進み、当社グループ外への売上高が前年同四半期比20.4%増となるなど順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高2,423,529千円（前年同四半期比12.6%増）、営業利益177,827千円（同6.8%増）、経常利益203,710千円（同7.5%増）、四半期純利益119,361千円（同5.3%減）となりました。

なお、四半期純利益は前年同四半期と比較して減益となりましたが、これは主に、連結子会社の株式会社プティパにおいて、平成22年6月設立以降、順調に利益を積み重ねてきたことに伴い、税務上の繰越欠損金が解消されたことから、税金負担が増加したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、3,172,942千円となり、前連結会計年度末に比べ45,901千円減少しました。これは、季節的要因による売掛金および未収入金の増加、ならびに株式会社プティパの新倉庫建設に伴う建設仮勘定計上などにより固定資産が増加したことなどの増加要因がありました一方で、クリスマス・バレンタイン向け商品の納品に伴い、たな卸資産が減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、1,470,026千円となり、前連結会計年度末と比べ140,190千円減少しました。これは、主にたな卸資産の減少に伴う買掛金および短期借入金の減少によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,702,915千円となり、前連結会計年度末と比べ94,289千円増加しました。これは、主に四半期純利益の計上により、利益剰余金が増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より40,759千円増加し、1,022,300千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は290,735千円（前年同四半期比14.9%増）となりました。これは、主に、売上高の増加に伴う売上債権の増加124,005千円、仕入債務の減少79,652千円、法人税等の支払額19,337千円などによる資金の減少に対し、税金等調整前四半期純利益の203,860千円に加え、減価償却費43,900千円、たな卸資産の減少250,829千円などによる資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は80,946千円（前年同四半期比8.1%減）となりました。これは、主に、有形固定資産の取得による支出54,571千円、無形固定資産の取得による支出19,178千円などによる資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は169,029千円（前年同四半期比123.2%増）となりました。これは、主に、短期借入金の純減少98,900千円、長期借入金の返済による支出33,786千円、配当金の支払額26,591千円、リース債務の返済による支出10,229千円などによる資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月14日に発表いたしました連結業績予想についての変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結累計期間において、株式会社TUKURUを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,116,543	1,157,303
受取手形及び売掛金	94,867	133,296
たな卸資産	708,370	457,540
未収入金	161,184	252,369
その他	22,101	25,303
貸倒引当金	△799	△1,230
流動資産合計	2,102,268	2,024,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	482,309	470,243
機械装置及び運搬具（純額）	115,961	111,318
土地	276,575	276,575
リース資産（純額）	64,708	59,934
その他（純額）	11,784	51,563
有形固定資産合計	951,339	969,635
無形固定資産		
のれん	47,479	43,373
その他	84,925	95,815
無形固定資産合計	132,405	139,188
投資その他の資産	32,830	39,534
固定資産合計	1,116,574	1,148,359
資産合計	3,218,843	3,172,942
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	306,224	226,571
短期借入金	248,900	150,000
1年内返済予定の長期借入金	67,572	67,504
未払法人税等	22,018	89,431
ポイント引当金	26,571	22,140
賞与引当金	14,308	14,922
その他	140,375	156,851
流動負債合計	825,969	727,422
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	516,808	483,090
その他	67,439	59,514
固定負債合計	784,247	742,604
負債合計	1,610,217	1,470,026

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	639,979	640,597
資本剰余金	599,338	599,956
利益剰余金	372,711	464,945
自己株式	△6,857	△6,857
株主資本合計	1,605,171	1,698,642
新株予約権	3,455	4,273
純資産合計	1,608,626	1,702,915
負債純資産合計	3,218,843	3,172,942

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	2,153,274	2,423,529
売上原価	1,433,983	1,588,004
売上総利益	719,291	835,524
販売費及び一般管理費	552,741	657,697
営業利益	166,549	177,827
営業外収益		
受取利息	113	137
補助金収入	3,498	4,392
協賛金収入	25,383	25,831
電力販売収益	—	2,605
その他	2,221	2,762
営業外収益合計	31,217	35,728
営業外費用		
支払利息	7,519	5,775
電力販売費用	—	3,358
その他	714	711
営業外費用合計	8,233	9,846
経常利益	189,533	203,710
特別利益		
新株予約権戻入益	—	150
特別利益合計	—	150
税金等調整前四半期純利益	189,533	203,860
法人税、住民税及び事業税	60,807	86,156
法人税等調整額	2,640	△1,658
法人税等合計	63,448	84,498
少数株主損益調整前四半期純利益	126,085	119,361
四半期純利益	126,085	119,361

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	126,085	119,361
四半期包括利益	126,085	119,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,085	119,361
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	189,533	203,860
減価償却費	44,372	43,900
のれん償却額	4,106	4,106
株式報酬費用	801	1,418
賞与引当金の増減額(△は減少)	219	614
貸倒引当金の増減額(△は減少)	95	431
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,546	△4,431
受取利息及び受取配当金	△113	△137
支払利息	7,519	5,775
株式交付費	—	309
新株予約権戻入益	—	△150
売上債権の増減額(△は増加)	△91,966	△124,005
未収入金の増減額(△は増加)	△14,026	△5,608
たな卸資産の増減額(△は増加)	197,230	250,829
仕入債務の増減額(△は減少)	△65,800	△79,652
その他	28,188	18,420
小計	298,612	315,683
利息及び配当金の受取額	99	122
利息の支払額	△7,467	△5,731
法人税等の支払額	△38,237	△19,337
営業活動によるキャッシュ・フロー	253,007	290,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	—
有形固定資産の取得による支出	△49,453	△54,571
無形固定資産の取得による支出	△29,170	△19,178
その他	△4,480	△7,196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,103	△80,946
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△46,200	△98,900
長期借入金の返済による支出	△23,790	△33,786
新株予約権の行使による株式の発行による収入	10,734	476
配当金の支払額	△6,257	△26,591
リース債務の返済による支出	△10,224	△10,229
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,738	△169,029
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	89,165	40,759
現金及び現金同等物の期首残高	295,425	981,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	384,590	1,022,300

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

4. 補足情報

販売の状況

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業を主要な事業としており、その他の事業の重要性が乏しいことにより、セグメント情報の開示を省略しているため、以下の販売実績については、取扱商品区分別により記載しております。

当第2四半期連結累計期間の販売実績を取扱商品区分別に示すと、次のとおりであります。

取扱商品区分別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)	前年同四半期比 (%)
鮮度保持剤 (千円)	168,211	101.7
菓子関連の包装資材等 (千円)	1,076,790	106.6
弁当関連の資材等 (容器等) (千円)	131,865	104.3
菓子関連の食材等 (千円)	984,162	125.1
その他 (千円)	62,499	103.3
合計 (千円)	2,423,529	112.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。